寺內新陸相聲明

**背非常の秋に當つて大命を下土を打開して意々図運の興隆**図家の安固を期し非常時間図家の安固を期し非常時間図家の安固を期し非常時間の質を學げ図防を完成して

所信の貨徹に適進せんとすなるを知り深く自ら決するなるを知り深く自ら決する程を排して斃れた。

許駐日大使

神戸着ステー

發表

「東京國通」馬場新蔵相に九 日夜の初閣議監會後左の如く 新内閣の財政經濟方針を制明 したが其内容に於て前内閣の 財政方針とは相當の差異ある を排して増税その他の増取方 を排して増税その他の増取方

世英氏並に主

土多事官等一行七

淺間丸で來濟した、大使は上

繰上げ九日午後二時半より重役會聯合委員會を開き十日より再開に決定した、大阪其他全國株式取引所も久振りに【東京國通】「東株の十日蓋開けか否かに就ては九日午後三時より協議する豫定の所細閣好轉の情報に急に豫定を

十三圓卅銭安の百四十六圓丁度に寄付いた

信の發行が行詰まりつゝあ 何等の差支はなく又今日公 何等の差支はなく又今日公 に依り支辨する事は元より に依り支辨する事は元より 更に新たなる國費の増加を 更に新たなる國費の増加を

陸軍上層部の異動

東株は愈々十日定刻より開場したが俄然大暴落を演じ新東は

所

でふけをたえ界のの野すのの以降保険 を本え得にの經済ののあるととも であずにする程にある。 をおりまするの数によるの数には を表するで数にある。 を表するで数にも の数での数には の数での数になる。 を表するの数には の数での数である。 を表する。 をまずる。 をもずる。 をもな。 をも。

新東は休會前に比し十三**週**卅錢安

一暴落

十日定刻より開場の筈である

東株の長期休業は

二萬二千圓だからかれこれ三もので今回は五圓目で今期東もので今回は五圓目で今期東

口

カ

休會前に比し

時局の安定をのみ只管御軫 上 育有の不祥事選生してより 新く廣田新内閣の親任式が 所く廣田新内閣の親任式が 下におかせられてはこの間 下におかせられてはこの間

大臣、重臣、軍事参議官等 大臣、重臣、軍事参議官等 は大臣、重臣、軍事参議官等 なやませ給ひ同日直ちに各 陛下には なやませ給ひ同日直ちに各 と しなやませ給ひ同日直ちに各 は い 大第である、 陛下には い 大第である、 陛下には い 大郎である。

数申上げる中に 陛下には 数目等しく御稜威に恐懼感 大のであつた、新くて の民等しく御稜威に恐懼感 を関したのであつた、新くて の民等しく御稜威に恐懼感

東株け

ふ定

刻開場

| 一日も早く内閣を成立せしめにより内務大臣が文部大 | れて居る ( 窓賃は松浦兵) | 一日も早く内閣を成立せしめんとする | 一日も早く内閣を成立せしめんとする | 一日も早く内閣を成立せしめんとする | 一日も早く内閣を成立せしめんとする | 一日も早く内閣を成立せしめんとする | 一日も早く内閣を成立せしめんとする | 一日も早く内閣を成立せしめる事になる。

### 不祥事發生以 月 來 0

御軫憂御精

恐懼感激の

外な

御下間があつて近衛公に一 御下間があつて近衛公に一 種肝會議、内府、宮相の親 程所會議、内府、宮相の親 程所會議、内府、宮相の親 程所會議、内府、宮相の親 任式を行はせられて配面外相に 実他御側近く宿直申上げて ある湯淺内府はじめ各國務 大臣等に日ず謁を賜ひ急迫 大臣等に日ず謁を賜ひ急迫 大臣等に日ず謁を賜ひ急迫 たる砂塘・日で調を明 たる砂塘・日で調を明 たる砂塘・日で調を明 たる砂塘・日で調であった、 大臣等に日ず調を賜ひ急迫 たる砂塘・日で調を明 たる砂塘・日で調を明 たる砂塘・日で調を明 たる砂塘・日で調を明 たる砂塘・日で調を明 たるの た。

專任文相

は

近日中

御沙汰を拜する事となつてる。 、 岡田首相は前宮禮遇の のか、岡田首相は前宮禮遇の を揺感し、御命を拜跡し、只 管護愼の意を表する事に豫て 決意し、その旨宮內省に通知 とてもので、九月右御沙

松浦九大總長有力

となつたのは

決意し、 決意し、

拜さなかつた

9 

御召服

井上洋形 電图(三)

陸軍記

を迎ふ

既にして山河水温み、早春 東記念日を迎へた。思へば率 東記念日を迎へた。思へば本 大倉戦のその日より、時を題

東方亜細亜大陸の全土に繰り 東方亜細亜大陸の全土に繰り この間に於けるわが同胞の感慨に堪へないもの存する。 ひたすらなる努力は、隆々た れた歴史の變轉極まり

念日 早春 いた所の諸勢力とは、あらゆる る勢力を壓迫せんとした。昭 る勢力を壓迫せんとした。昭 和六年九月十八日、導火線に 點ぜられた聖火は、諸種の障害を撃破して、歴史の進展を その本來の軌道に回復せしめ たのであつた。その故を以て 今日、東洋史の書き替へをな すべき時機に到達したと言は オ、又、現時廣茫三千里の大 舊東北政權と たものであつ

東方大陸に於 力とは、あらゆこれに結び付 大翼と、而して て日本の正當な 請を正しく承け織くものであ 業に從ひつゝある昼軍が、三 十餘年前のわれらの先人の功 十餘年前のわれらの先人の功

平和の要論であるとし、全人自己に有利な現狀維持を以て自己に有利な現狀維持を以て 現時、世界の地 類の編祉増進等を念頭の外に **んとし、至當なる生存権を** いてゐる。正常な發展を遂 世界の情勢は、全世

……三月の躍らかな陽光は輝 そそいでゐる。」

等、對峙の混沌を生んでゐる に緊迫してゐるのである。 われらは國內に於ける學園 に緊迫してゐるのである。 われらは國內に於ける學園

言葉を繰り返す必要はないで あらう。先般の事件は良き衝撃となつて、全國民の胸底を うつたのであつた。徒らに既 その職務にとらはれず、明日 への、非常時克服のための工 でに萬民協力せねばならぬ。

現●

ののでは、一般のでは、

母夜正五時開演致しま

日(木)

日(水)

二日間

100.00 100.00 100.00 申

二日目

(十二日)

進

神崎東下り 一 (十1日)

奈良丸口

らと對立し、

第一回寶 100 CO 第 100 CO 第 100 CO 第 20 CO 20 第一回賣 ▲紐 育 向

三〇弗一六分一

商况欄

◆ 御影池陽東局警務課長 十日大連より 日大連より ・ 原の都まテル 京國都まテル ・ 京國都まテル ・ 京國都まテル ・ 保川廉造氏(特隆商)同 ・ 保川廉造氏(新鐵)九日午 後率天へ ・ 保川廉造氏(前)同 ・ 保川廉造氏(前)同 ・ 保田常融氏(前)同 ・ 保証谷恭治氏(電池)同 ・ 保証谷恭治氏(電楽業)同窓

月十

·日前場)

#### ▲河野正一氏(協和會員)同午後鐵嶺へ上野正則氏(滿銭)同吉林へ上野正則氏(満銭)同吉林へへ馬野英三氏(會社員)同ハルビンへルビンへ、ルビンへ、ルビンへ、大連へ大連で、(同)同 本京名古屋ホテル 本京名古屋ホテル 本京名古屋ホテル 本小林可香氏(同)同本疗法公司 (同)同本疗法公司 (可能银行)同本疗法公司 (可能银行)同本疗法公司 (會社員)同本宫田登二氏(實類會社員)同本宫田登二氏(實類會社員)同本宫田等的內地。 德一郎氏(商業)同率 要支為替 一志二片八分五 門日為替 一志二片八分五 三月限限 七七留比八分五 一十月限限 七七留比八分五 一十月限限 七七留比八分五 一十月限限 七七留比八分五 一一仙二二 一一仙二二二 一一仙二二二十八分五 一一仙二二二十八分五 一一仙二二二十八分五 一一仙二二二十八分五 一一仙二二二十八分五 一一仙二二二十八分五 一一仙二二二十八分五 二三留比四分一 一一仙二二十八分五 二三留比四分一 一一位二二十八分五 二三留比四分一 官店と時計は 一九片二分二 一九片二分二 一九片二分二 四弗空仙四分三 四弗空仙四分三 三四弗八分五仙 三四弗八分五仙 三四,八分五仙 岩間商會 中央

く發令さら 事件に關する肅軍の意

水)

以來十三日間引續き休業を續

之程長期に亘つ

| 一週間、大正之年の職後恐慌 | 平、昭和二年の金融恐慌 | 六年ドイツ皇帝購和提議の際 | 十二年の闢東大震災には | て休業した歴史をみると大正 | には二回に亘つて廿九日

に三間は月

この休業概念には悲鳴を響げ

長短期實物國債の各取引員よ十萬圓近くの收入減である、

闡。

- (日

新首相初聲明

【東京國通】

夜の初閣議散 田首相並に寺

文部大臣に就ては特に適任
ではまだ考へ及んでゐない
へて居る、無任所大臣制、
へて居る、無任所大臣制、
へで居る、無任所大臣制、

者を求めるため暫く内相象 有局に就ては本來同局が永 を局に就ては本來同局が永 を場合といぶ建前で設けれ

けるものと自信して居るして現下の時局對處して紀とも緊密に手を握り相協力と、高政府と軍部とは今終い、尚政府と軍部とは今終い、尚政府と軍部とは今終い、

可を得たので十日競表される 意謀總長等の異動も競表される 意謀總長等の異動も競表される を謀總長等の異動も競表される 下が轉補されるものと強想さ

岡田首相 前官 禮遇拜辭 

日中に設合される事となつたとの内容は川島陸相が寺内斯陸相就任後待命となるほか橋陸相就任後待命となるほか橋陸相就任後待命となるほか橋 陸軍の職制改革 本日發表

は九日午後川島陸相上奏御戯し、東京國通」陸軍職制改革即 特に前官の禮源と聴い 選を賜ふ有難き

トを 競表した

を述べることに でするとはその機 があるとはその機

(使大日駐許)

帝今十日午前八時東京輝濟列 『東京國通』駐日支那大使許 「東京國通」駐日支那大使許 諒承願ひます

一日附朝刊を休刊致しますから御日は陸軍記念日につき祝意を表し 陸 軍記念 日休

刑

開五每演時內

入为料階下 共 割引は御座い

廣美 藤 吉 吉 澤堂軒 田 田 杂为 茶長丸 筑

重なる口演者

記念館に於け

新京署では既報の如く四月か らケーテー式標識を街道に数 れに先立つて長春座、新京キ れに先立つて長春座、新京キ

列させ演繹館は吉野町通りに な立たせず脇の露路に待たせ

に停車所を設

が数十合もたか

は人力車を北村吳服店前か

同情者續出

に就て研

並びに小川洋服店前方面に整

通りの大新洋行前に並べ客馬車は

カコ(二七)さんの身柄引取にくれ世の人々に同情を求めてるた哀れた日本生命保險外で最近(三一)の妻を受員谷本健二(三一)の妻を

関旗を先頭に續々所定の位

百瀬田中佐指揮の

中學校、商業學校、青年學校 少年團の順序に約二千の餘劍 少年團の順序に約二千の餘劍 少年團の順序に約二千の餘劍

して同二十分頃散會したが非萬歳を唱和し冷酒を汲み交は

映畵館附近の

(二)

# まづ新京神社の報告祭を終 日和

止めずEこを置し口で の日天氣晴朗碧空一島の雲を り豪華皇軍譜を高調した一此 ・ **へ通りに織りなす** 

の記念報告祭は午前十時から
各箇所代表其他各團體代表等
本日行事の序曲なる新京神社
正副職長、國防婦人會、滿鍛 全市思ひ出の催 税制 奏上ついで各代 表それ 一千餘名にて式は形の如く修 一千餘名にて式は形の如く修

國務總理の發聲で大日本帝國 かあつて開宴宴酣なる頃、張

山東省生れ住所不定無職徐守 不在を幸ひ盜む

時な盛會であった 永沼挺身隊の

#### 津々浦々から翕然と寄せら 念がその用慰金とよるに全國観廳殉職警官に對する同情の 二青年弔慰金 二六事件における警

を訪れ「今回の殉職警官計所連れの青年が新京驛警官計所 ころ二十七、八才前後の二人 つゝある折柄、 し哀悼の

車の待合ひに 散髪は如何?

乘客本位のモダン理髪屋

して散髪の御用はいかょ? して散髪の御用はいかょ? にえの改善に努めてゐる新ピスの改善に努めてゐる新ピスの改善に至るはずで、乗客の待合時間をは入つて左島開業させやうと準備中だら開業させやうと準備中だるはずで、乗客の待合時間などを利用しては乗換時間などを利用して 近く新京驛で開業 ・ 月中に完成の豫定だが遅れて ・ 月中に完成の豫定だが遅れて ・ 日本第一ばいには完成し同時 ・ ことになるであらうと、既に ・ 選髪師の人選も決定し今はた

同業者に 迷惑をかけぬ 稻川麗長さんの話

繁昌しやらが、絶對同業者 おについて稲川驛長は語る 出に政府代用官舎、韓軍官舎 部、権運署等の所在地である が、職運署等の所在地である 尚特殊取扱事務は左如し 通信の利用上非常に便利となゐるので郵政機關設置により 電薬社宅等集合住宅隣接して

#Ett版(8)離五/三可能人京朝 社會式株融金和昭

うといふ仕組で、最近に翻剃りから散髪ま

**興降客の徴増と**ム

観相と易斷

要はその料金の問題があるであらうと見ら

からいへば料金を

廣告の御用は

は の暗夜であるか知れず を不幸や災難は をなるか知れず は名 がはは をなるか知れず は名 がいれず は名

滿日小爲替

Ŕ

満洲ラデオ普及株式曹社

五九二五

御明命し最奇霊霊所へ

たけ廉くするのは本営市中の料金よりも康い市中の料金よりも康いば乗客以外の利用者がば乗客以外の利用者がは乗客ところのところ

人一代には十二度の選と七 大難あり、幸不幸や災難はいつどこにあるか知れず 一寸先は眞の暗夜である人 生行路轉ばぬ前にどなたも 急ぎ運命鑑定を 成功と幸福への第一步 成功と幸福への第一步 | 高島正衆鑑定事務所 技術會議 鮮滿鐵道

に迷惑をかけぬやう市中の に迷惑をかけははゆかない、結 局市中一等理要店なみの料 金は頂かねばならないと思 金は頂かねばならないと思 をかの便宜に繋べて殊更に安く をの便宜に繋がるといふの料 であつて筆客外のお客を吸 であつて等客外のお客を吸 であったされば響楽には を表したい。の をの便宜になりのお客を吸 であったされば響楽には としたいなからなきない。 をののでするといるの料 には を変ないまでも大したこと は毛頭なくこの肥特に注意 【大連國通】本年度鮮滿獎道 技術の共通統制に就て協議す 支術の共通統制に就て協議す を事となつたが滿鐵目の鐵道 教養でである事となったが滿鐵目の鐵道 務各課より代表者約十名が出 席の豫定

おける山口警備司令官統監の下に行はれた各

上から新京神社における報告祭、中

一央通りに

陸。軍。記。念。日。書

四◇離門

▲七・○○吹奏樂(東京)陸東戸山學校軍樂隊▲七・三○東京山學校軍樂隊▲七・三○東京、東京樂燕▲八・○五獨唱(東京、東京、東京、大学、東京)陸 六時、ヤマトホテル
六時、ヤマトホテル 今晩の主なる演藝放送☆ (田子

ð

す

申出で同氏は喜びながら三笠 | 身柄を預けることにしたを下田検事々務取扱まで織々 | 町三丁目某氏にタカコさんの

## 設電線を 千二百米盗む

電柱へ登つての大仕事

平山神官着任

数京神社ではいよ/ 解氷期とよるに附屬地内外の地鎖祭上棟式その他各種祭典が殖へて現在権村神官四名では手不足で多忙を極めるので神官二足で多性を極めるので神官二足で多性を極めるので神官二とない、去る七日國幣小社津島神社から平山敏郎氏が新に着任した。なほ近日中に一、二名

附近は交通部、財政部、豪政治することとなった 新京郵政管理局では今回大同 郵局を新設

交通部構内に

童(2)-七0-番

が今回之を買收して營繕需品を中銀印刷所に委託してゐたを中銀印刷所に委託してゐた 前月よりは四組それん〜増へ二十一組で前年と較べて六組 二月中神前結婚 印刷所を直營 二十一組 川海鸟

新京の感像

0

帽子

新製品 此祭御持為ナラ右ノ品ニ限リ金三圓以上買上ノ方ニ限リ二割引奉仕ヲ致シマス ランドセル。 カツボー着。サロン前掛。腰紐。帶しめ。半ゑり。帶揚

期有本間効券 割

三月三十一日まで(以後無効) 新京吉野町一丁目

新 電話(3)コニニハ

新京一の 買よい店

新京大經路三六號(市場前)

レコード吹込つ

ク 口水

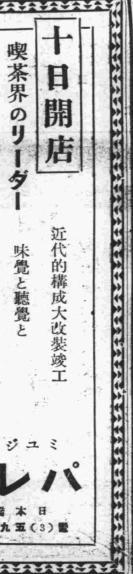
ン吹込)

智民刑一般法律事務 支店 公主嶺大和町電話(二)三二六一番

辯護士 サ

會葬御禮 新京朝日通八十三地番電ニー三八八三 戚本マ 3





●十日、十一日記念粗品贈呈● 視覺を快く生かした店

上開催され 上開催され 一、創立趣意響、會社定款、一、創立準備費一部支出に勝する件 一等。 創立準備費一部支出に勝つる件 一次 創立事務所設置に賜する件 一次 創立事務所設置に賜する件 一次 創立事務所設置に賜する件 一次 前事項以外各種事項協議

月月日日 天明 のののの 日 入出入出版の

0

南西の風暗後海島

と氣温

い前事項以外各種事項協議 に關する件

FRITTIFFE FEETERFE

會堂で被宋委員長以下参集の

質は十日午後三時から記念公九合温泉株式會社の創立委員

創立委員會

台溫泉會社

ドラマ、喇叭

聞

年學校が新設されてより一年學校が新設より 調覧局司政部長 武部六藏

待望!吉田奈良

丸

を自覺され、自奮自勵、寸と、青年學校設立の大使命

**海** 

箕宿 除先辰 五水曜 日一十月三 日八七月十

愈よ明夜開演

心されん事を顧ふ次第である で有縁の日本青年たるべく決 で有縁の日本青年たるべく決

●二黒の人 安學を慣しめば ・二黒の人 安學を慣しめば ・二黒の人 安學を慣しめば

新京漁連町ニノー六

事

答なく業績自ら揚るべき日二黒の人 妄擧を慎しめば

電話さ金融 電話店

正五時より長春座

第二景

二三日後演習歸り

伊

廢 洋品店內

られた賜であらういいい。

後七時

大連より全満中繼

第である。第である。第である。第である。第である。の八割に達する現状であり、公人上の教育に進まざるものその八割に達する現状であり、全國二百萬の大衆青年を對象とする教育機關の充實は最もとする教育機關の充實は最もとする教育機關の充實は最もなが、したが会職の表質は最もない。

○ 報濟市況 ○ 料理獻立 ○ 経濟市況 ○ 経済市況

(大連)

五五二五五

五 氣象通報 番組費 二、零子の部屋二、零子の部屋二、零子の部屋

明晩は

滿

洲

特

輯プ

勇壯

一青年の夕

原作…根準監四郎 原作…根準監四郎 原作…根準監四郎 所作…根準監四郎 所 田…國 底 勇 所 田。 一旦 本 に は 稀 に み る 海 と で 変に 被 に る る 海 屋 第 と し 客 に 野 し て も 親 切 叮 寧 迅 速 を と ・ 変に 他 の 店 目 の 市 に し る の 店 一 と 云 を に ま 義 と し 客 の 評 判 も 非 常 に 良 と 、 勿論主人の 信 用 も 絶 大 で を に は 稀 に み る 温 屋 篤 宝 退 想 即 に は 稀 に み る 温 屋 篤 宝 退 想 即 に は 稀 に み る 温 屋 篤 宝 退 想 即 に は 稀 に み る 温 屋 篤 宝 退 想 即 に は 稀 に み る 温 屋 篤 宝 退 想 即 に は 稀 に み る 温 屋 篤 宝 退 想 即 西年學校生徒、多田、吉のれ現場へ急行した。 は現場へ急行した。

本 藤川支司、美堂軒峰月、廣澤 一行は奈良丸師の他に吉田第 一行は奈良丸師の他に吉田第 一行は奈良丸師の他に吉田第



は既報の如くファン特望裡に一点曲界の王座に君臨し全員的に置くその名屋を謳はれてるといる。 

希望と意気の表徴なれる。 期日にみがく吾が智徳 燃えたつ意気を養せんと タベにはげむ吾が智徳

、染めなす色も酸かに

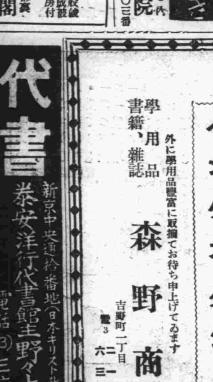
現状に満足して



雲







正八

图器付五十十

でいち定食

三十美



電話調子門 公益此 電話調名養其/條仲介謝絕 新京百貨店二階 新京百貨店二階

すべし病厄に注意

27

**原用金柱** 

方に進めば過無し 対能を考へ力量

古に耐え事に當れ

央衆路頭に迷うものは本會へ 自一選一會本部(平井) 電 二十一〇八五

**本合へ** た教會下が一般的である。 ラ 野商店。 ンドセ

> ク ス 萬手

お進入 用 品以



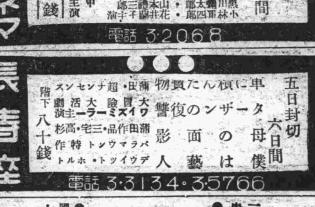
明治自動車練習所

宿 學 費 費 規則書進呈 Ξ 食

申込者多數に付希望者は至急申込まれたし 員 ニケ月卒業 满 H 附二十五圓 圓名名

生の衣白 トルーオビンコ名對絕 テかた江入・二職岡 左彦保久大 連本山・郎太彌川県 顕井花・郎四耶林小 七 Ŧī. H 八十銭 H 封切 五日封 切

**阿** 五創 年業



大湖支店 電二二三 国二ヶ月 四引、汽船一部引、通用期 四引、汽船一部引、通用期

質州丸·三月十四日後二時二角、鹿兒島·沖繩行

門司、神戸(大阪)行配米利加丸 三月十二日 高 本 る 丸 丸 三月十二日 音 林 丸 丸 三月十二日 まららる 丸 カ 三月十二日 日 三月十二日 日 三月十二日 日 三月十二日 日 大 桑 丸 三月十九日 

美

溴鼠



バーマネント 日本橋通り角富士町一丁目 ニキュ

●有名化粧品店・薬房に有 ●黑砂糖石鹼酸實元 9 信

立 ふし 滑 2 壹乳 太黄個兒 金婦 **煮人** 拾專

なんこよい 黑 せう



清〇〇唱

六六◇····◇ ○五 夜

→ 大・三〇 建國體操 ・一〇 朝の音樂(・東京) ・一〇 村等瀬語講座(本東) ・一〇 村等瀬語講座(本東) ・一〇 村等瀬語講座(本東) ・一〇 村等瀬語講座(本東) ・一〇 村等瀬語講座(大連) 番組 文に贈る言葉 上村 哲 彌一〇・三五 經濟市況 (大連) 一〇・三五 經濟市況 (東京) 一〇・四〇 經濟市況 (東京) 一・四〇 ニュース (東京引續き新京) (大連引續き新京) (大連引續き新京) (大連引續き新京) (レコード) (ルコード) で、浪花節 寛政相撲 ホ村 友 衛 木村 友 衛 木村 友 衛 本村 友 衛 一新M日京立 放送局) 放送局) 

ti

八。〇〇 ラヂ

が進り、

ダ中の行

フェダー

金ャ集の

京 関原新

新潟直航人

三省堂製

本所

帳簿專門

電話3三三三四番

喇叭は響く

國 廣 勇

看板

は

七三五 吹

一、二長調 マズルカー、二長調 マズルカー、二長調 マズルカー ムニュル作曲 フラスバンド 場 学 (大連)ラスバンド

カネタ

RCT) A会

用宣

m

郁キネマ

校し 東ラ 七・〇〇一、講演 演 部 六 職 演 扇司政部長 関東局司政部長

一、新京青年學校を歌 ・二〇 詩 吟 (大連) ・一〇 詩 吟 (大連) ・一〇 詩 吟 (大連) ・一、題兒島高總書櫻樹圖 ・一、乃木希典作 三題 ・益田 遷 風 ・二、乃木希典作 三題

電四九二〇番が、京無は、 人。三〇 時報・ニュ 横出 爾

陽

八・四五 ニュース・解膺市況 大・四五 ニュース・解膺市況 無象通報・番組報告 (滿語) 九・三〇 戲劇 美人査關 (清語) 北兆・碑 黎明國劇社配員 一〇・〇〇 北浦の時間 (哈爾濱)

電話三

ーニへ二へ登

教授

御教授ス

(東京) 第(3)五六二九(2)二一〇五 第(3)五六二九(2)二一〇五 第(3)五六二九(2)二一〇五 第(3)五六二九(2)二一〇五 第(3)五六二九(2)二一〇五 第(3)四十九六番へ 第(3)四十九六番へ 第(3)四十九六番へ 第(3)四十九六番へ 第(4)四十九六番へ 第(4)四十九六番へ 第(4)四十九六番へ

下宿致します 電話(3)二〇八六番 電話(3)二〇八六番

(3)四八二八番 3)四二四六番へ 書間 養性立 養性立 殺問 部部

五八四銀バレス前五八四銀バレス前

高き使命を双肩に

神國日本青年

0

理想の域を目指しつ

電話商舎、 (3)六七〇〇 電話商舎、 (3)六七〇〇 電話 賣物アリ 金融

電(3)二四六六青陽ビル三階 場に召す 青陽寫眞場 キット御氣に召す

と 富な色どりが喜ばれるであり 上に劇期的進展を示しつるあた だれにバラエティに富んだ豐 に活躍する在滿青年の教育のた 終るのですが、地元から編纂 協力援助により皇國の第一線 におこうないですが、地元から編纂 協力援助により皇國の第一線 はいっちょう こうじゅう こうじゅう はっちょう ませり

の二理七

邦文 学者とスト選成朝日通日本タイプライタ會社朝日通日本タイプライタ會社明日通日本タイプライタ會社明日第一次大・大・三六・三六・日南會館へで大・大・三六・三六・日南會館へで大・大・三六・三六・日本の東四馬路二八公益旅社

番の本でこ人ん

務に従事してゐる關係上是非 大青年の保護者屋傭主たる各 位の充分なる理解と絕大なる 協力に俟たなくては、真の振 奥を期することは出來ないの であるから、各位には青年熟 であるから、各位には青年熟 以て益々協力援助あらん事を 以て益々協力援助あらん事を

キリ央 高 スト通

電話3五八二九番 のんま 京永樂町三ノ

入前五十 觸 卷稿干美 まるの手 漬

## 1936新沙ボレー本日發賣

